

水とかがやく未来館(長沢浄水場広報施設)



◀エントランスでは、川崎の水道の歴史を紹介しています。

川崎の水を知ろう！

「水とかがやく未来館(長沢浄水場広報施設)」は、『かわさき水ものがたり』をコンセプトに、水循環の流れに沿って、自然の恵みを活かした川崎の水道の特徴や仕組みを紹介しています。普段何気なく使っている水道について学習できる広報施設です。

2017(平成29)年6月、長沢浄水場更新工事に伴い不要となった建物をリニューアルして施設が完成した際、小学4年生(当時)を対象に施設の愛称を募集し、47校505点の応募の中から「水とかがやく未来館」が選ばされました。

長沢浄水場では、この広報施設ができる前から、水道について学ぶ小学4年生(毎年1万人以上)の見学を受け入れてきましたが、施設オープン後は、小学生だけでなく、家族連れや地域のグループなど、一般の見学者も受け入れています。

館内で仕組みを学び、場内を歩いて実感

秋晴れのさわやかな日、古市場小学校の4年生の皆さんと一緒に川崎の水道について勉強しました。



1階 大会議室

全員でガイダンスを受けました。古市場小学校は事前に学校でDVDを見てから来たとのことですが、通常は、ここでDVDを見ながら水道水が作られるまでの仕組みについて学びます。



3階 自然の恵みゾーン 《川崎水ビジョンマップ》

山に降った雨が湖にためられ、その水がだんだん下つて浄水場に到着するまでの様子や、浄水場から市内に水が配られていく様などが、ダイナミックな超大型映像と音で演出されていて、自然流下による水道システムを楽しく学ぶことができました。

■水とかがやく未来館(長沢浄水場広報施設)

〒210-0821 多摩区三田 5-1-1

川崎市上下水道局
ホームページ→



完全予約制です。
個人、団体、共に
事前にお申し込
みください。

小田急線「向ヶ丘遊園駅」北口 2番乗り場からバス
【向11】あざみ野駅行き、または【向12】聖マリアンナ
医科大学行きで「浄水場入口」下車 徒歩約10分



2階 水をつくるゾーン 水をくばるゾーン 水をつかうゾーンなど

映像や模型、実際に使っている物などを用いて、環境にやさしい水づくりの工程などについて説明を受けました。メダカを使って水の異常を調べていると知ってびっくり。漏水音の聴き比べでは、こちらのクラスは3つのうち2つ正解して、案内のスタッフに褒められました。



長沢浄水場見学

未来館を出て浄水場めぐり。相模湖、津久井湖などから導かれた原水が、きれいな水になっていく現場を見学しました。最後に、できたばかりの水を飲んで、見学終了。「すごくおいしい！お母さんにも飲ませてあげるの」と、笑顔で水筒を見せてくれた児童もいました。



施設の案内は、「子どもたちの安全を第一に、専門用語は言葉を置き換えて分かりやすくし、できるだけ現物を使って理解を深めてもらうようにしています」という、4名の優しいスタッフが担当しています。皆さん上下水道局のOBですが、専門分野が違うので、お互いに学び合っているそうです。

来て、見て、聞いて、飲んで納得！ 安全でおいしい川崎の水

川崎市上下水道局広報サービス担当係長の川口さんは、「コロナ禍を過ごして、実体験って大事だなとつくづく思いました。電子化が進む今は、バーチャルで学習できるところもありますが、やはり実際に来て、実物を見て、説明を聞いて、広い浄水場の中を歩いていただきたいなと思います。見学者によって毎回少しアレンジが違うスタッフの解説もお楽しみに」と話していました。

昨年の記録的な猛暑を体験し、『水』の大切さを改めて考えた方も多いのではないでしょうか。川崎の水づくりが環境にとてもやさしいことについてもっとお伝えしたかったのですが、スペースの都合でここまで。興味のある方は、ぜひ「水とかがやく未来館」へ！

見学時間は
2時間半
程度です。

見学のご案内

問合せ電話 044-200-3149(上下水道局サービス推進課)

(受付時間 午前8時30分から午後5時15分)

開館時間 午前8時45分から午後4時15分

休館日 火曜日、土日、祝祭日、年末年始

